エコアクション２１
環境経営レポート

2022年4月1日～2023年3月31日

本社事務所

2023年5月16日

株式会社コクハラ

目次

１．会社概要及び対象範囲　・・・・・・・・・・・・・・・１
２．環境経営方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３．環境管理実施体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・３
４．環境経営目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
５．環境経営計画と実績　・・・・・・・・・・・・・・・・５
６．次年度の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・9
7．環境関連法規の遵守、違反、訴訟等の有無　・・・10
8．代表者による全体評価と見直し　・・・・・・・・・11

１．会社概要及び対象範囲

１-１　社名　　株式会社フクハラ

１-２　設立　　昭和４６年５月　（　１９７１年　）

１-３　資本金　５０００万円

１-４　所在地

〒２４６－００２５　　神奈川県横浜市瀬谷区阿久和西１－１５－５
本社事務所

〒４５４－０９６１　　愛知県名古屋市中川区戸田明正２丁目－２１１
中部営業所

〒２４６－００２５　　神奈川県横浜市瀬谷区阿久和西１－１５－９
第一工場

〒２４１－００３１　　神奈川県横浜市旭区今宿西町２２２－５
都岡工場

１-５　代表取締役　福原　廣

１-６　事業内容　エアーコンプレッサー周辺機器・ドレン処理装置の開発製造販売

=製品及びサービス=

エアーコンプレッサー用ドレントラップ、ドレン処理装置、メタルバスター、除菌フィルター、エアフィルター、芳香発生装置、膜式エアドライヤー、オイルミスト吸着装置オイルバスター、圧縮空気用増圧装置、サイクロンセパレーター、窒素ガス発生装置、メカニカルシール用リークアラームの設計、製造及び販売

１-７　事業規模

対　象　期　間					
指標	単位	(2022年　4月～　2023年　3月)	(2021年　4月～　2022年　3月)	(2020年　4月～　2021年　3月)	(2019年　4月～　2020年 3月)
従業員数	人	70.00	72.00	75.00	76.00
売上高	万円	150,132.2	134,819.6	117,374.20	128,676.70
床面積	m2	2,494.00	2,494.00	2,494.00	2,494.00

１-８　環境管理責任者　環境管理係　佐伯　徳博

１-９　対象組織　　本社事務所　中部営業所　第一工場　都岡工場

１-１０　対象活動　　ドレン処理装置、ドレントラップ、エアフィルター、

エアーコンプレッサー周辺機器の開発・製造・販売

2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

Ⅰ. 基本理念

「ストップザ環境破壊」。我々は勇気をもって立ち上がり、「美しい地球経済成長の両立を図る」ことを基本理念とし、環境破壊と地球温暖化防止を目指して、広く社会に貢献することを誓います。

Ⅱ. 基本方針

株式会社フクハラは、より良い地球環境を目指して環境関連機器、省エネ製品の開発、製造及び販売を促進しています。このことを踏まえ地球環境保全を経営の重要課題と捉え、企業活動のあらゆる面に取入れて、環境汚染の予防に努めるとともに、コスト削減、企業規模の拡大のためのチャンスとして、社会の発展に貢献するため以下の方針を定め、環境経営システムを推進し、必要に応じて見直しを図ります。

１．企業活動及び製品、サービスの環境に及ぼす影響が大きく、かつ技術的、経済的に可能な事項から取り組み、環境パフォーマンスを向上させるための環境経営システムの継続的改善を図ります。

２．環境関連法令及び当社が受入れたその他の要求事項を遵守します。

３．環境保全活動のため、特に次の事項について重点的、かつ積極的に推進します。

(1)　環境関連機器及び省エネ製品の開発、販売(2)　二酸化炭素排出量・電気使用量・化石燃料使用量・水使用量・廃棄物等の削減への取組み、及びグリーン購入の推進(3)　化学物質使用量削減と適正管理

４．　社員の環境への啓蒙、及び地域・社会との協調・連携を図り環境活動を通じて社会に貢献します。

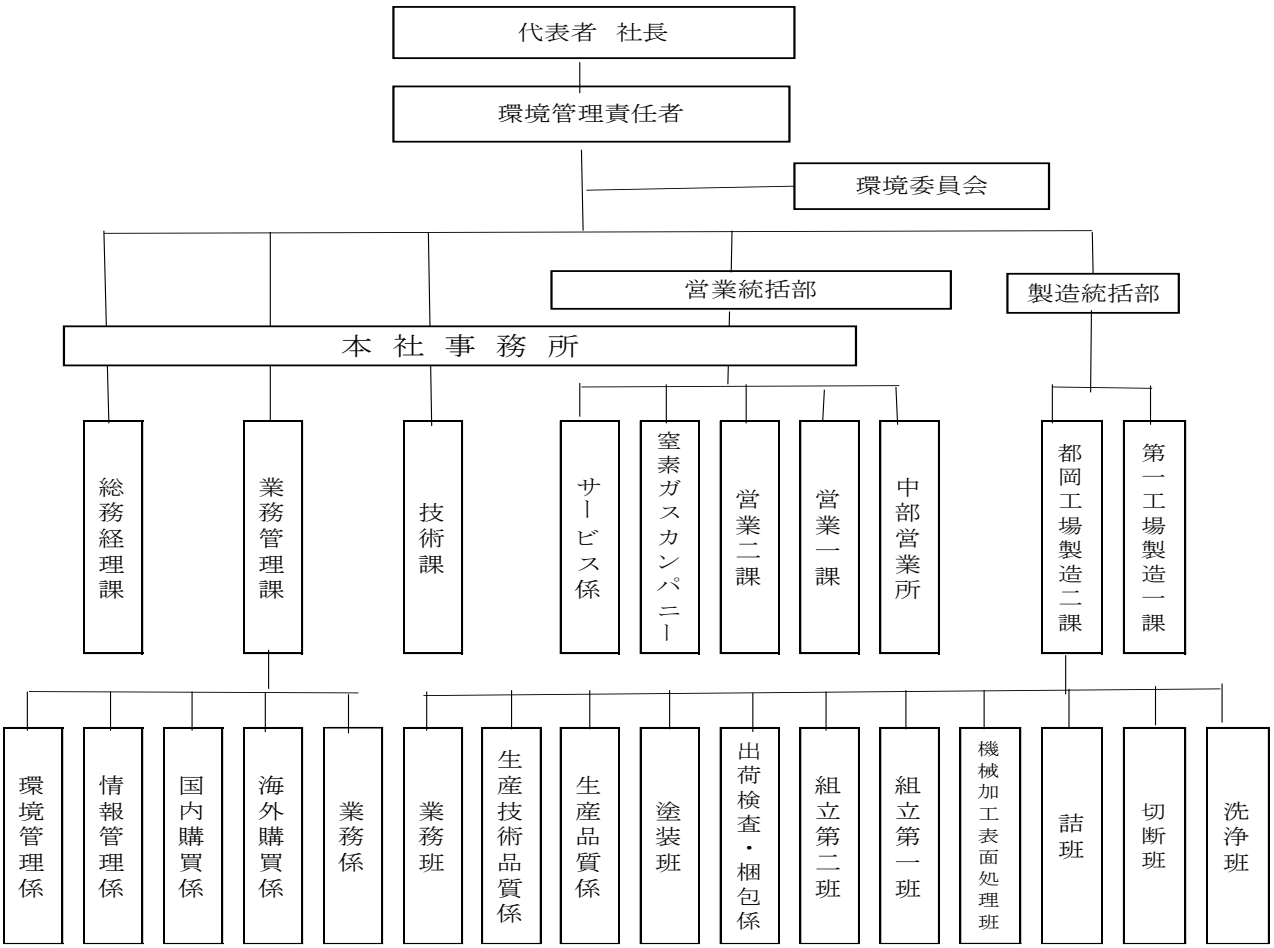
５．環境経営方針は全社員への周知徹底を図るとともにホームページ及び環境経営レポートにて社外に公表します。

２０１８．３．２３

株式会社フクハラ

代表取締役　福原　廣

3.環境管理実施体制



	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ ②環境方針を制定し、従業員に周知する ③資源(人、もの、金)の用意をする ④EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する
環境管理責任者	①EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境委員会 環境委員	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び 全従業員	①自部門内の環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境遺影計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を遵守する ④社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑤自部門内の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

4. 環境経営目標

環　境　経　営　目　標

No.	環境目標テーマ	基準値 ２０２１年度	年度環境目標 ２０２２年度	２０２３年度	２０２４年度	担当部署
2	(二酸化炭素排出量削減) ・電力使用量の削減 ・ガソリン使用量の削減	電力使用量 絶対量　184,176 kWh 原単位　136.61 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　11,888 ℓ 原単位　8.82 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　114.880 kg--CO2	1% 削減 電力使用量 絶対量　182,334 kWh 原単位　135.24 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　11,768 ℓ 原単位　8.73 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　113.748 kg-CO2	1% 削減 電力使用量 絶対量　180,511 kWh 原単位　133.89 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　11,650 ℓ 原単位　8.64 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　113.00 kg-CO2	1% 削減 電力使用量 絶対量　178,706 kWh 原単位　132.550 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　11,534 ℓ 原単位　8.55 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　111.870 kg-CO2	全部署 営業部
3	(廃棄物排出量削減) ・産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量 絶対量　116,505 kg 原単位　86.42 kg/百万円	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 産業廃棄物排出量 絶対量　116,505 kg 原単位　86.42 kg/百万円	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 産業廃棄物排出量 絶対量　116,505 kg 原単位　86.42 kg/百万円	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 産業廃棄物排出量 絶対量　116,505 kg 原単位　85.56 kg/百万円	製造部門
4	(総排水量削減) ・節水	水使用量 絶対量　1,881 ㎥	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 水使用量 絶対量　1,881 ㎥	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 水使用量 絶対量　1,881 ㎥	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 水使用量 絶対量　1,881 ㎥	製造部門 全部署
5	(化学物質使用量削減) ・塗料、シンナー類の削減	指定100物質排出量 絶対量　1,873 kg 原単位　1.390 kg/百万円	1% 削減 指定100物質排出量 絶対量　1,854 kg 原単位　1.380 kg/百万円	1% 削減 指定100物質排出量 絶対量　1,836 kg 原単位　1.370 kg/百万円	1% 削減 指定100物質排出量 絶対量　1,818 kg 原単位　1.360 kg/百万円	製造部門
7	(グリーン購入の推進)	グリーン商品購入率 48.1 %	1%　UP グリーン商品購入率 48.6 %	1%　UP グリーン商品購入率 49.1 %	1%　UP グリーン商品購入率 49.6 %	業務管理

注) ①電力購入先　東京電力　二酸化炭素排出係数 0.474kg--CO2/kWh (2016年度版)　②電力購入先　中部電力　二酸化炭素排出係数 0.474kg--CO2/kWh (2016年度版)

5. 環境経営計画と実績

① 4月～6月

2022年度 環境経営計画書

No	環境目標	方策				目標及び実績 4月	5月	6月	責任者
1	【二酸化炭素排出量削減】 電力使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 135.615kwh/百万円 ↓ 目標 135.24kwh/百万円 以下	・クールビズ・ウォームビズの実施 ・昼休みの消灯 ・PC電源OFF、スリープ機能の設定 ・LED化の推進 ・人感センサーの設置 ・エアコン温度の適正管理 ・熱線吸収ガラス、反射ガラスの採用 ・シーリングファンの設置 ・建物への遮熱塗料の塗装推進	絶対値	目標 kwh	当月	13,441	8,737	10,887	全部署 部門長
					累計	13,441	22,178	33,065	
				実績 kwh	当月	14,042	8,250	10,504	
					累計	14,042	22,292	32,796	
				達成率 評価	当月	-4.5 ×	5.6 ○	3.5 ○	
					累計	-4.5 ×	-0.5 ×	0.8 ○	
			原単位	実績 kwh/百万円	当月	122.46	80.75	75.25	
					累計	122.46	102.81	92.02	
				達成率 評価	当月	10.4 ○	67.5 ○	79.7 ○	
					累計	10.4 ○	31.5 ○	47.0 ○	
	【二酸化炭素排出量削減】 ガソリン使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 8.82ℓ/百万円 ↓ 目標 8.73ℓ/百万円 以下	・エコドライブ 発進時、ふんわりスタート 緩やかな速度で走行 赤信号、下坂はエンジンブレーキ アイドリングストップ クーラーはほどほどに ルート選びも大切 ・不要な荷物は掲載しない ・空気圧チェックはこまめに ・ハイブリッドカーへの転換	絶対値	目標 ℓ	当月	777	627	1,324	主 営業部門 櫻井 関連 全部署 部門長
					累計	777	1,404	2,728	
				実績 ℓ	当月	1,101	936	1,411	
					累計	1,101	2,037	3,448	
				達成率 評価	当月	-41.7 ×	33.3 ×	48.3 ×	
					累計	-41.7 ×	-45.1 ×	-26.4 ×	
			原単位	実績 ℓ/百万円	当月	9.60	9.16	10.11	
					累計	9.60	9.40	9.68	
				達成率 評価	当月	-9.09 ×	-4.71 ×	-13.65 ×	
					累計	-9.09 ×	-7.08 ×	-9.77 ×	
	【二酸化炭素排出量削減】 電力、ガソリン使用量による 前年実績の1%削減	上記施策による		目標 kg-CO2	累計	8,175	13,772	22,006	
				実績 kg-CO2	累計	9,211	15,293	23,546	
				達成率評価		-12.7 ×	-11.0 ×	-7.0 ×	
2	【産業廃棄物の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視 原単位 2021年実績 86.42kg/百万円 比較監視	・廃フィルターの水分を極力除去 ・原材料・資材の代替検討 ・廃棄物の分別の徹底	絶対値	前年実績 kg	当月	10,860	6,110	9,320	製造部門 市村
					累計	10,860	16,970	26,290	
				今年実績 kg	当月	6,335	5,460	10,300	
					累計	6,335	11,795	22,095	
				実績 評価	当月	58.3 ○	89.4 ○	110.5 ×	
					累計	58.3 ○	69.5 ○	84.0 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	55.25	53.44	73.79	
					累計	55.25	54.40	61.99	
				実績 評価	当月	63.9 ○	61.8 ○	85.4 ○	
					累計	63.9 ○	62.9 ○	71.7 ○	
3	【総排水量の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視	・節水の徹底 ・水を出し過ぎない ・流しっぱなし、出しっぱなし厳禁 ・トイレ大小の使い分け ・節水アイテムの活用	絶対値	前年実績 m^3	当月		319	310	製造部門 市村 全部署 部門長
					累計		319	629	
				実績 m^3	当月		310	304	
					累計		310	614	
				実績 評価	当月		97.2 ○	98.1	
					累計		97.2 ○	97.6	
4	【化学物質使用量削減】 ・塗料、溶剤類の使用による百物質の 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 2021年実績 1.39kg/百万円 → 目標 1.38kg/百万円 以下	・塗装ロスの低減 ・容器にフタを小まめにして発散させない ・容器の密閉化 ・塗装ロスの少ないブース吸引力 ・微粒化とつきまわり性の良い高効率 ガンの採用 ・洗浄溶剤の回収と洗浄方法の改善	絶対値	目標 kg	当月	144.41	130.36	232.67	製造部門 市村
					累計	144.41	274.77	507.44	
				実績 kg	当月	136.66	110.84	141.50	
					累計	136.66	247.50	389.00	
				達成率 評価	当月	5.37 ○	14.98 ○	39.18 ○	
					累計	5.37 ○	9.93 ○	23.34 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	1.19	1.08	1.01	
					累計	1.19	1.14	1.09	
				達成率 評価	当月	15.8 ○	27.2 ○	36.1 ○	
					累計	15.8 ○	20.9 ○	26.4 ○	
5	【グリーン購入の推進】 購入率 2021年実績 48.1% → 48.6% 1%UP	・実態調査 ・仕組作り ・目標設定	目標			48.6	48.6	48.6	総務
			累計実績			45.9	50.6	52.0	
			評価			×	○	○	
	【電力、ガソリン、灯油、ガスによる二酸化炭素総排出量】		灯油、ガス累計 kg-CO2			1018	1522	2532	
			総累計 kg-CO2			10,229	16,815	26,078	
	売上高（百万円）		当月			114.664	102.173	139.583	
			累計			114.664	216.837	356.420	
	評価 環境管理責任者					電力使用量は4月に超過したが6月までに改善できた。技術の車が1台廃車されたが営業車が2台増加したためガソリン使用量は増加となっている。結果、CO2排出量は増加。			

② 7月～9月

2022年度 環境経営計画書

No	環境目標	方策				目標及び実績 7月	8月	9月	責任者
1	【二酸化炭素排出量削減】 電力使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 135.615kwh/百万円 ↓ 目標 135.24kwh/百万円 以下	・クールビズ・ウォームビズの実施 ・昼休みの消灯 ・PC電源OFF、スリープ機能の設定 ・LED化の推進 ・人感センサーの設置 ・エアコン温度の適正管理 ・熱線吸収ガラス、反射ガラスの採用 ・シーリングファンの設置 ・建物への遮熱塗料の塗装推進	絶対値	目標 kwh	当月	13,281	18,841	17,150	全部署 部門長
					累計	46,346	65,187	82,337	
				実績 kwh	当月	17,134	21,090	19,723	
					累計	49,930	71,020	90,743	
				達成率	当月	-29.0 ×	-11.9 ×	-15.0 ×	
				評価	累計	-7.7 ×	-8.9 ×	-10.2 ×	
			原単位	実績 kwh/百万円	当月	129.60	165.20	142.38	
					累計	102.18	115.24	120.22	
				達成率	当月	4.4 ○	-18.1 ×	-5.0 ×	
				評価	累計	32.3 ○	17.4 ○	12.5 ○	
	【二酸化炭素排出量削減】 ガソリン使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 8.82ℓ/百万円 ↓ 目標 8.73ℓ/百万円 以下	・エコドライブ 発進時、ふんわりスタート 緩やかな速度で走行 赤信号、下坂はエンジンブレーキ アイドリングストップ クーラーはほどほどに ルート選びも大切 ・不要な荷物は掲載しない ・空気圧チェックはこまめに ・ハイブリッドカーへの転換	絶対値	目標 ℓ	当月	1,377	972	918	主 営業部門 櫻井 関連 全部署 部門長
					累計	4,105	5,077	5,995	
				実績 ℓ	当月	1,300	1,268	1,522	
					累計	4,749	6,016	7,538	
				達成率	当月	68.3 ○	75.0 ×	74.6 ×	
				評価	累計	-15.7 ×	-18.5 ×	-25.7 ×	
			原単位	実績 ℓ／百万円	当月	9.83	9.93	10.99	
					累計	9.72	9.76	9.99	
				達成率	当月	-11.23 ×	-12.09 ×	-20.55 ×	
				評価	累計	-10.17 ×	-10.57 ×	-12.59 ×	
	【二酸化炭素排出量削減】 電力、ガソリン使用量による 前年実績の1%削減	上記施策による		目標 kg-CO2	累計	31,498	42,686	52,946	
				実績 kg-CO2	累計	34,684	47,621	60,501	
				達成率評価		-10.1 ×	-11.6 ×	-14.3 ×	
2	【産業廃棄物の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視 原単位 2021年実績 86.42kg/百万円 比較監視	・廃フィルターの水分を極力除去 ・原材料・資材の代替検討 ・廃棄物の分別の徹底	絶対値	前年実績 kg	当月	12,145	11,625	11,440	製造部門 市村
					累計	38,435	50,060	61,500	
				今年実績 kg	当月	6,045	12,120	6,730	
					累計	28,140	40,260	46,990	
				実績	当月	49.8 ○	104.3 ×	58.8 ○	
				評価	累計	73.2 ○	80.4 ○	76.4 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	45.72	94.94	48.59	
					累計	57.59	65.33	62.25	
				実績	当月	52.9 ○	109.9 ×	56.2 ○	
				評価	累計	66.6 ○	75.6 ○	72.0 ○	
3	【総排水量の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視	・節水の徹底 ・水を出し過ぎない ・流しっぱなし、出しっぱなし厳禁 ・トイレ大小の使い分け ・節水アイテムの活用	絶対値	前年実績 m^3	当月			279	製造部門 市村 全部署 部門長
					累計			908	
				実績 m^3	当月			319	
					累計			933	
				実績	当月	○		114.3 ×	
				評価	累計	○		102.8 ×	
4	【化学物質使用量削減】 ・塗料、溶剤類の使用による百物質の 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 2021年実績 1.39kg/百万円 → 目標 1.38kg/百万円 以下	・塗装ロスの低減 ・容器にフタを小まめにして発散させない ・容器の密閉化 ・塗装ロスの少ないブース吸引力 ・微粒化とつきまわり性の良い高効率 ガンの採用 ・洗浄溶剤の回収と洗浄方法の改善	絶対値	目標 kg	当月	160.16	208.35	150.62	製造部門 市村
					累計	667.61	875.95	1026.57	
				実績 kg	当月	186.25	112.14	169.41	
					累計	575.25	687.39	856.80	
				達成率	当月	-16.29 ×	46.18 ○	-12.48 ×	
				評価	累計	13.83 ○	21.53 ○	16.54 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	1.41	0.88	1.22	
					累計	1.18	1.12	1.14	
				達成率	当月	-2.0 ×	57.1 ○	12.8 ○	
				評価	累計	17.2 ○	23.7 ○	21.6 ○	
5	【グリーン購入の推進】 購入率 2021年実績 48.1% → 48.6% 1%UP	・実態調査 ・仕組作り ・目標設定	目標			48.6	48.6	48.6	総務
			累計実績			52.8	50.5	50.1	
			評価			○	○	○	
	【電力、ガソリン、灯油、ガスによる二酸化炭素総排出量】		灯油、ガス累計 kg-CO2			3030	3532	4782	
			総累計 kg-CO2			37,714	51,153	65,283	
	売上高（百万円）		当月			132.210	127.664	138.519	
			累計			488.630	616.294	754.813	
	評価 環境管理責任者					都岡工場退職者での人員減で残業増による対応のため電気使用量増加。			

③　10 月～12 月

２０２２年度　環境経営計画書

No	環境目標	方策				目標及び実績 10月	11月	12月	責任者
1	【二酸化炭素排出量削減】 電力使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 135.615kwh/百万円 ↓ 目標 135.24kwh/百万円 以下	・クールビズ・ウォームビズの実施 ・昼休みの消灯 ・PC電源OFF、スリープ機能の設定 ・LED化の推進 ・人感センサーの設置 ・エアコン温度の適正管理 ・熱線吸収ガラス、反射ガラスの採用 ・シーリングファンの設置 ・建物への遮熱塗料の塗装推進	絶対値	目標 kwh	当月	11,547	10,582	15,899	全部署 部門長
					累計	93,884	104,466	120,365	
				実績 kwh	当月	12,735	10,987	15,449	
					累計	103,478	114,465	129,914	
				達成率 評価	当月	-10.3 ×	-3.8 ×	2.8 ○	
					累計	-10.2 ×	-9.6 ×	-7.9 ×	
			原単位	実績 kwh/百万円	当月	97.85	82.48	126.46	
					累計	116.93	112.42	113.93	
				達成率 評価	当月	38.2 ○	64.0 ○	6.9 ○	
					累計	15.7 ○	20.3 ○	18.7 ○	
	【二酸化炭素排出量削減】 ガソリン使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 8.82ℓ/百万円 ↓ 目標 8.73ℓ/百万円 以下	・エコドライブ 発進時、ふんわりスタート 緩やかな速度で走行 赤信号、下坂はエンジンブレーキ アイドリングストップ クーラーはほどほどに ルート選びも大切 ・不要な荷物は掲載しない ・空気圧チェックはこまめに ・ハイブリッドカーへの転換	絶対値	目標 ℓ	当月	992	758	1,105	主 営業部門 櫻井 関連 全部署 部門長
					累計	6,987	7,745	8,850	
				実績 ℓ	当月	1,094	873	974	
					累計	8,632	9,505	10,479	
				達成率 評価	当月	84.3 ×	88.7 ×	89.0 ○	
					累計	-23.5 ×	-22.7 ×	-18.4 ×	
			原単位	実績 ℓ／百万円	当月	8.40	6.55	7.97	
					累計	9.75	9.34	9.19	
				達成率 評価	当月	3.89 ○	33.19 ○	9.48 ○	
					累計	-10.50 ×	-6.49 ×	-5.00 ×	
	【二酸化炭素排出量削減】 電力、ガソリン使用量による 前年実績の1%削減	上記施策による		目標 kg-CO2	累計	60,722	67,498	77,600	
				実績 kg-CO2	累計	69,075	76,309	85,891	
				達成率評価		-13.8 ×	-13.1 ×	-10.7 ×	
2	【産業廃棄物の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視 原単位 2021年実績 86.42kg/百万円 比較監視	・廃フィルターの水分を極力除去 ・原材料・資材の代替検討 ・廃棄物の分別の徹底	絶対値	前年実績 kg	当月	12,795	5,940	14,045	製造部門 市村
					累計	74,295	80,235	94,280	
				今年実績 kg	当月	9,515	6,850	8,585	
					累計	56,505	63,355	71,940	
				実績 評価	当月	74.4 ○	115.3 ×	61.1 ○	
					累計	76.1 ○	79.0 ○	76.3 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	73.11	51.42	70.27	
					累計	63.85	62.22	63.09	
				実績 評価	当月	84.6 ○	59.5 ○	81.3 ○	
					累計	73.9 ○	72.0 ○	73.0 ○	
3	【総排水量の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視	・節水の徹底　・水を出し過ぎない ・流しっぱなし、出しっぱなし厳禁 ・トイレ大小の使い分け　・節水アイテムの活用	絶対値	前年実績 m^3	当月		287	336	製造部門 市村 全部署 部門長
					累計		1,195	1,531	
				実績 m^3	当月		331	353	
					累計		1,264	1,617	
				実績 評価	当月		115.3 ×	105.1	
					累計		105.8 ×	105.6	
4	【化学物質使用量削減】 ・塗料、溶剤類の使用による百物質の 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 2021年実績　1.39kg/百万円 →　目標　1.38kg/百万円 以下	・塗装ロスの低減 ・容器にフタを小まめにして発散させない ・容器の密閉化 ・塗装ロスの少ないブース吸引力 ・微粒化とつきまわり性の良い高効率 ガンの採用 ・洗浄溶剤の回収と洗浄方法の改善	絶対値	目標 kg	当月	152.74	122.07	142.33	製造部門 市村
					累計	1179.31	1301.37	1443.71	
				実績 kg	当月	107.76	132.94	179.82	
					累計	964.56	1,097.50	1,277.32	
				達成率 評価	当月	29.45 ○	-8.91 ×	-26.34 ×	
					累計	18.21 ○	15.67 ○	11.52 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	0.83	1.00	1.47	
					累計	1.09	1.08	1.12	
				達成率 評価	当月	66.7 ○	38.3 ○	-6.2 ×	
					累計	26.6 ○	28.0 ○	23.2 ○	
5	【グリーン購入の推進】 購入率　2021年実績　48.1% → 48.6%　1%UP	・実態調査 ・仕組作り ・目標設定	目標			48.6	48.6	48.6	総務
			累計実績			51.9	52.1	47.7	
			評価			○	○	×	
	【電力、ガソリン、灯油、ガスによる二酸化炭素総排出量】		灯油、ガス累計 kg-CO2			6032	6788	7547	
			総累計 kg-CO2			75,107	83,097	93,438	
	売上高（百万円）		当月			130.146	133.210	122.166	
			累計			884.959	1,018.169	1,140.335	
	評価 環境管理責任者					都岡工場での人員減のため残業増による対応で電力使用量が増加していたが12月単月で改善。営業車の走行距離が前年比21%増のためガソリン使用量増加。燃費は前年比1.9%改善している。			

④　1月～3月

2022年度　環境経営計画書

No	環境目標	方策				目標及び実績 1月	2月	3月	責任者
1	【二酸化炭素排出量削減】 電力使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 135.615kwh/百万円 ↓ 目標 135.24kwh/百万円 以下	・クールビズ・ウォームビズの実施 ・昼休みの消灯 ・PC電源OFF、スリープ機能の設定 ・LED化の推進 ・人感センサーの設置 ・エアコン温度の適正管理 ・熱線吸収ガラス、反射ガラスの採用 ・シーリングファンの設置 ・建物への遮熱塗料の塗装推進	絶対値	目標 kwh	当月	19,889	23,976	18,104	全部署 部門長
					累計	140,254	164,230	182,334	
				実績 kwh	当月	17786	24150	17041	
					累計	147,700	171,850	188,891	
				達成率	当月	10.6 ○	-0.7 ×	5.9 ○	
				評価	累計	-5.3 ×	-4.6 ×	-3.6 ×	
			原単位	実績 kwh/百万円	当月	162.01	182.84	143.06	
					累計	118.15	124.33	125.82	
				達成率	当月	-16.5 ×	-26.0 ×	-5.5 ×	
				評価	累計	14.5 ○	8.8 ○	7.5 ○	
	【二酸化炭素排出量削減】 ガソリン使用量の削減 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 実績 8.82ℓ/百万円 ↓ 目標 8.73ℓ/百万円 以下	・エコドライブ 発進時、ふんわりスタート 緩やかな速度で走行 赤信号、下坂はエンジンブレーキ アイドリングストップ クーラーはほどほどに ルート選びも大切 ・不要な荷物は掲載しない ・空気圧チェックはこまめに ・ハイブリッドカーへの転換	絶対値	目標 ℓ	当月	1,180	671	1,067	主 営業部門 櫻井 関連 全部署 部門長
					累計	10,030	10,701	11,768	
				実績 ℓ	当月	1,337	1193	885	
					累計	11,816	13,009	13,894	
				達成率	当月	86.7 ×	88.9 ×	92.5 ○	
				評価	累計	-17.8 ×	-21.6 ×	-18.1 ×	
			原単位	実績 ℓ／百万円	当月	12.18	9.03	7.43	
					累計	9.45	9.41	9.25	
				達成率	当月	-28.30 ×	-3.35 ×	17.50 ○	
				評価	累計	-7.64 ×	-7.24 ×	-5.67 ×	
	【二酸化炭素排出量削減】 電力、ガソリン使用量による 前年実績の1%削減	上記施策による		目標 kg-CO2	累計	89,767	102,689	113,748	
				実績 kg-CO2	累計	97,423	111,638	121,769	
				達成率評価		-8.5 ×	-8.7 ×	-7.1 ×	
2	【産業廃棄物の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視 原単位 2021年実績 86.42kg/百万円 比較監視	・廃フィルターの水分を極力除去 ・原材料・資材の代替検討 ・廃棄物の分別の徹底	絶対値	前年実績 kg	当月	5,770	9,905	6,550	製造部門 市村
					累計	100,050	109,955	116,505	
				今年実績 kg	当月	4970	11255	7200	
					累計	76,910	88,165	95,365	
				実績	当月	86.1 ○	113.6 ×	109.9 ×	
				評価	累計	76.9 ○	80.2 ○	81.9 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	45.27	85.21	60.44	
					累計	61.52	63.79	63.52	
				実績	当月	52.4 ○	98.6 ○	69.9 ○	
				評価	累計	71.2 ○	73.8 ○	73.5 ○	
3	【総排水量の削減】 絶対値 2021年実績 比較監視	・節水の徹底　・水を出し過ぎない ・流しっぱなし、出しっぱなし厳禁 ・トイレ大小の使い分け　・節水アイテムの活用	絶対値	前年実績 m^3	当月			350	製造部門 市村 全部署 部門長
					累計			1,881	
				実績 m^3	当月			378	
					累計			1,995	
				実績	当月	×		108.0 ×	
				評価	累計	×		106.1 ×	
4	【化学物質使用量削減】 ・塗料、溶剤類の使用による百物質の 絶対値、原単位とも 2021年実績の1%削減 原単位 2021年実績　1.39kg/百万円 →　目標　1.38kg/百万円 以下	・塗装ロスの低減 ・容器にフタを小まめにして発散させない ・容器の密閉化 ・塗装ロスの少ないブース吸引力 ・微粒化とつきまわり性の良い高効率 ガンの採用 ・洗浄溶剤の回収と洗浄方法の改善	絶対値	目標 kg	当月	111.34	123.83	175.45	製造部門 市村
					累計	1555.04	1678.87	1854.32	
				実績 kg	当月	76.28	158.93	79.19	
					累計	1,353.60	1,512.53	1,591.72	
				達成率	当月	31.49 ○	-28.35 ×	54.86 ○	
				評価	累計	12.95 ○	9.91 ○	14.16 ○	
			原単位	実績 kg/百万円	当月	0.69	1.20	0.66	
					累計	1.08	1.09	1.06	
				達成率	当月	98.6 ○	14.7 ○	107.6 ○	
				評価	累計	27.4 ○	26.1 ○	30.2 ○	
5	【グリーン購入の推進】 購入率　2021年実績　48.1% → 48.6%　1%UP	・実態調査 ・仕組作り ・目標設定	目標			48.6	48.6	48.6	総務
			累計実績			46.4	47.3	46.3	
			評価			×	×	×	
	【電力、ガソリン、灯油、ガスによる二酸化炭素総排出量】		灯油、ガス累計 kg-CO2			8508	9273	10037	
			総累計 kg-CO2			105,931	120,910	131,805	
	売上高（百万円）		当月			109.781	132.086	119.120	
			累計			1,250.116	1,382.202	1,501.322	
	評価 環境管理責任者					電力は今年度前半での使用量が増加し後半で改善したが若干の未達。ガソリンも走行距離が前年度より19%増加し使用量も17%UP。廃棄物、化学物質は削減したが水使用量は増加。斑模様であった。			

6. 次年度の取り組み

環　境　経　営　目　標

No.	環境目標テーマ	基準値 ２０２２年度	年度環境目標 ２０２３年度	２０２４年度	２０２５．年度	担当部署
1	(二酸化炭素排出量削減) ・電力使用量の削減 ・ガソリン使用量の削減	電力使用量 絶対量　188,891 kWh 原単位　125.82 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　13,894 ℓ 原単位　9.25 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　121,769 kg--CO2	1% 削減 電力使用量 絶対量　187,002 kWh 原単位　124.56 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　13,755 ℓ 原単位　9.16 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　120,551 kg-CO2	1% 削減 電力使用量 絶対量　185,132 kWh 原単位　123.31 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　13,618 ℓ 原単位　9.07 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　119,346 kg-CO2	1% 削減 電力使用量 絶対量　183,281 kWh 原単位　122.080 kWh/百万円 ガソリン使用量 絶対量　13,482 ℓ 原単位　8.98 ℓ/百万円 二酸化炭素排出量 絶対量　118,152 kg-CO2	全部署 営業部
3	(廃棄物排出量削減) ・産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量 絶対量　95,365 kg 原単位　63.52 kg/百万円	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 産業廃棄物排出量 絶対量　95,365 kg 原単位　63.52 kg/百万円	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 産業廃棄物排出量 絶対量　95,365 kg 原単位　63.52 kg/百万円	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 産業廃棄物排出量 絶対量　95,365 kg 原単位　63.52 kg/百万円	製造部門
3	(総排水量削減) ・節水	水使用量 絶対量　1,995 ㎥	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 水使用量 絶対量　1,995 ㎥	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 水使用量 絶対量　1,995 ㎥	絶対量:現状以下 原単位:比較監視 水使用量 絶対量　1,995 ㎥	製造部門 全部署
4	(化学物質使用量削減) ・塗料、シンナー類の削減	指定100物質排出量 絶対量　1,592 kg 原単位　1.060 kg/百万円	1% 削減 指定100物質排出量 絶対量　1,576 kg 原単位　1.050 kg/百万円	1% 削減 指定100物質排出量 絶対量　1,560 kg 原単位　1.040 kg/百万円	1% 削減 指定100物質排出量 絶対量　1,544 kg 原単位　1.030 kg/百万円	製造部門
5	(グリーン購入の推進)	グリーン商品購入率 46.3 %	1%　UP グリーン商品購入率 46.8 %	1%　UP グリーン商品購入率 47.2 %	1%　UP グリーン商品購入率 47.7 %	業務管理
	売上高(百万円)	1,501.3	1,348.2	1,348.2	1,348.2	

注）①電力購入先　東京電力　二酸化炭素排出係数 0.474kg--CO2/kWh（2016年度版）　②電力購入先　中部電力　二酸化炭素排出係数 0.474kg--CO2/kWh（2016年度版）

7.環境関連法規の遵守、違反、訴訟等の有無

遵守評価日　2022 年 12 月 12 日　(環境法規制一覧表により 2 回/年、6 月　12 月確認)

関係当局からの違反等の指摘は、過去 10 年間無し。

	法規制等名称	条項	遵守状況
水質汚濁	下水道法	汚濁水の排出(12条の2)	○
		障害を除去するために必要な施設を設ける(12条の11)	○
	下水道法施行令	除害施設設置基準(9条)	○
		水質基準(9条の5)　n-Hex 5mg/?(鉱油類)	○
	横浜市下水道条例	除害施設の設置(6条)	○
廃棄物	廃棄物処理法	産業廃棄物保管基準(12条)	○
		マニフェストを交付(12条の3)	○
		実施状況を都道府県知事に報告(12条の8)	○
	廃棄物処理法施行令	収集運搬の委託基準、委託契約書(6条の2)	○
	廃棄物処理法施行規則	保管基準、掲示板(8条)	○
		収集運搬委託基準(8条の2)	○
		処分委託基準(8条の3)	○
		委託契約書に添付すべき書面(8条の4)	○
		委託契約に含まれる事項(8条の4の2)	○
		委託契約書保存期間(8条の4の3)	○
	家電リサイクル法	消費者の責務(6条)	○
	家電リサイクル法施行令	家電リサイクル法対象機器	○
危険物・火災	消防法	指定可燃物の貯蔵(9条の3)	○
		消防用設備の設置(17条)	○
		消防用設備の点検報告(17条3の3)	○
	消防法施行令	消火器設置基準(10条)	○
	消防法施行規則	消防用設備の点検期間(31条の6)	○
	危険物の規制に関する政令	指定数量(1条の11)　第1石油類　200ℓ　第2石油類　1,000ℓ	○
	横浜市火災予防条例	少量危険物の貯蔵、取扱基準(36条、37条)	○
		少量危険物の貯蔵の届出(76条)	○
騒音振動	横浜市生活環境条例	騒音、振動に関する規制基準　(31条)	○
	横浜市生活環境条例施行規則	38条(別表第13,14)騒音am8～pm6　50db.振動am8～pm7　60db.	○
化学物質	労働安全衛生法	物質の表示等(57条)	○
	労働安全衛生法施行令	名称を表示すべき有害物(18条)　四塩化炭素　硫酸	○
	消防法	危険物　別表第一(2条⑦)	○
	特定化学物質障害予防規則	測定およびその記録(36条)	○
		労働者の作業記録(38条の4)	○
	PRTR法	第一種指定化学物質の排出量等の把握及び届出(5条)	○
大気汚染	フロン排出抑制法	フロン類回収業者への引渡し(19条)	○
		費用負担(37条)	○
		行程管理制度の遵守((19条の3)	○
		第一種特定製品の管理者が講ずべき措置(16条～26条)	○

8.代表者による全体評価と見直し

実施日　　2023年4月25日

8－1.環境管理責任者の報告

① 実施期間　　202年4月1日～2023年3月31日

② 環境経営計画に基づき予定通り実施。

③ 環境関連法規等の遵守状況　　当該法令は遵守している

④ 外部からの環境に関する苦情や要望及びその対応結果　　発生なし

⑤ 環境異常、緊急事態の発生状況及びその対応結果　　発生なし

⑥ 環境目標の達成状況

	単位	目標	実績	コメント		評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	113,748	121,769	目標比	7.1%の超過	×
電力使用量の削減	kwh	182,334	188,891	目標比	3.6%の超過	×
ガソリン使用量の削減	ℓ	11,768	13,894	目標比	18.1%の超過	×
産業廃棄物排出量の監視	kg	116,505	95,365	前年比	18.1%の削減	○
水使用量の監視	㎥	1,881	1,995	前年比	6.1%の超過	×
化学物質使用量の削減	kg	1,854	1,592	目標比	14.2%の削減	○
グリーン購入	購入率%	48.6	46.3	目標比	2.3%の未達	×

注1）産業廃棄物排出量、水使用量の目標値は前年実績
注2）二酸化炭素排出量の総量実績は131,805kg-CO2　（電力、ガソリン、灯油、ガス）

是正・予防処置の状況

都岡工場高圧受電設備にデマンド監視装置を設置して30分間隔の電力使用量推移をリアルタイムで監視し東京電力との契約電力値を超えないよう予防処置を講じている。

8－2.　代表者の見直し

項目	見直し有無	評価コメント
環境経営方針	無し	社憲の理念に沿ったもので見直しは無し
環境経営目標	有り	2022年実績を基準に見直し目標を設定のこと
環境経営計画	有り	二酸化炭素削減を意識して活動のこと
実施体制	無し	見直しは無し

8－3.　全体評価コメント

・ 売上は目標に僅かに届かなったが前年比111.4%で初の15億を超えた。業績UPに伴い、電力、ガソリン使用量の絶対値は目標を超過しCO2排出量も増加となった。原単位では電力は効率が上がったが、ガソリンは営業要員増と相まって走行距離も9.4%UPしたため未達となったが燃費は向上した。本年度からドレンとともにCO2を吸着回収する油水分離装置ドレンデストロイヤーCO2を拡販することでカーボンニュートラル推進に貢献していく。